



健保組合は 社員の“がんばり” を支えています

家族、やりがい、達成感、評価、そして将来の夢…。社員が日々の仕事に打ち込めるのは、そんな、がんばりへの原動力があるから。社員一人ひとりの意欲が組織全体の士気を高め、磐石な経営基盤の礎となることは、すべての経営者をご存知のことと思います。健保組合は、社員の“がんばり”と家族の“安心”を、健康増進と医療の面で支える、唯一不可欠な存在。厳しい経済情勢にあっても求められる、より活力ある企業風土の醸成。そして、停滞からの脱却と発展を目指していくために、健保組合の果たす大きな意義を、いま改めてお確かめください。



事業主とともに、健保組合のメリットを活かし続けたい。

健保組合には事業主、加入者による自主的運営という大きなメリットがあります。このメリットを活かして、健保組合は保険者機能を発揮してきました。

事業主と加入者の状況に応じた運営… 事業主の経営環境、加入者の特性、年齢構成などに配慮したきめの細かい運営

保険料の自主設定… 健保組合の財政・事業計画に応じた自主的な料率設定

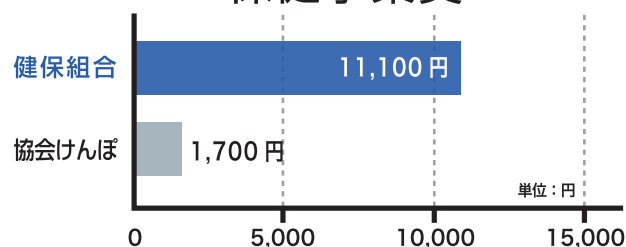
医療費の適正化… 医療機関からの請求内容のチェックやジェネリック医薬品の使用促進など、医療費の適正化

健康・体力づくり事業の展開… 特定健診や人間ドックをはじめとする各種検診、保健指導、メンタルヘルスケア、運動指導などの健康・体力づくり事業の展開

医療提供側のカウンターパートとしての役割… 医療提供側との連携による保険料の有効活用

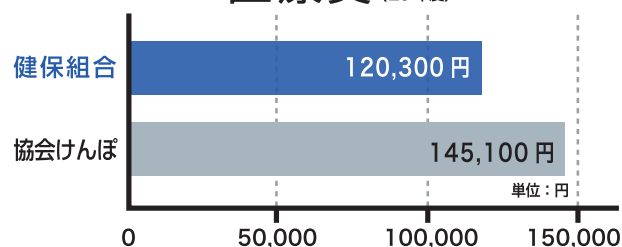
健保組合は保険者機能を発揮することによって、医療費の適正化に努めています。

加入者1人当たりの**保健事業費** (21年度)



※21年度健康保険組合決算、21年度全国健康保険協会決算から算出

加入者1人当たりの**医療費** (20年度)

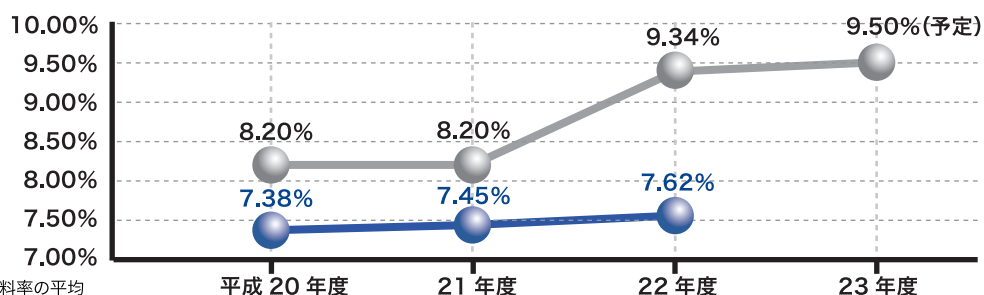


※20年度医療給付実態調査結果より

平均保険料率の比較

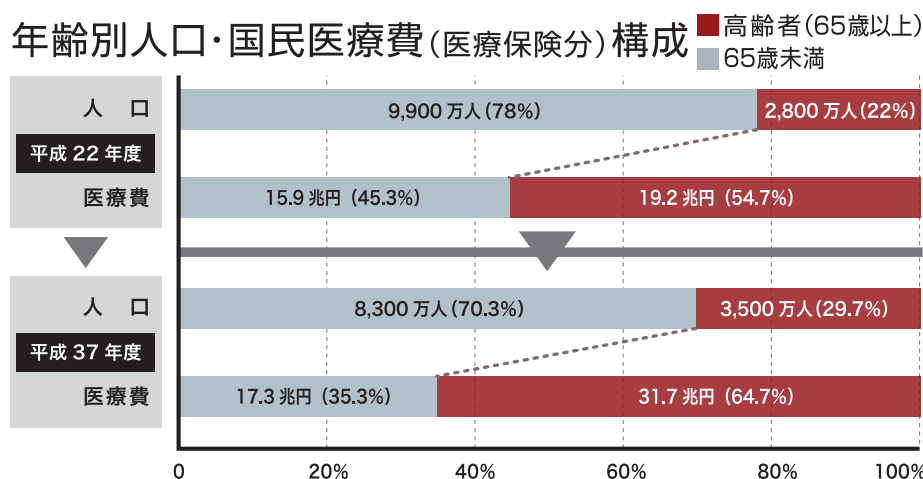
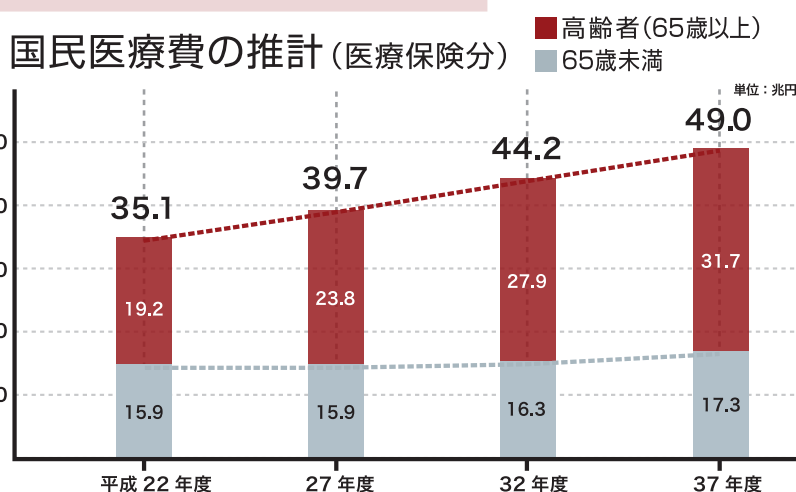
● 健保組合
● 協会けんぽ

※健保組合の保険料率は全健保組合の平均
※協会けんぽの保険料率は都道府県別保険料率の平均



急速に進む高齢化の中で医療費は増え続けます。 医療費の適正化に向けて 事業主と加入者の協力が不可欠です。

わが国の医療費は過去10年間、平均1.6%の伸びで増加してきました。
また、今後15年間は年平均で2.2%増加すると推計されています。
この医療費が、全ての医療保険者の運営に重くのしかかってくるのです。



※高齢者医療制度改革会議(平成22年10月)資料より ※医療保険分: 国民医療費から自由診療分及び生活保護・労働者災害補償保険分を除いたもの

国民皆保険の危機と言われている今、従来にも増して医療費適正化などの保険者機能の発揮が求められます。健保組合の財政は逼迫していますが、「加入者の健康を守る」という使命を果たしつつあります。そのためには事業主、加入者との連携が不可欠です。
健保組合の事業にご理解とご支援をお願いします。

健保組合はこれからも
社員の“がんばり”と家族の“安心”を支えつづけます。

 健康保険組合連合会

www.kenporen.com